

コ・メディカル形態機能学会第5回総会報告

会長 磯村源蔵

秋晴れの日、解剖学会から独立した最初の学術集会であるコ・メディカル形態機能学会第5回学術集会が山形で下記のように開かれた。4月の第4回学術集会後僅かに5ヵ月後という短期間にどれだけの発表が集まるか心配されたが、28題もの演題が報告され、会員諸氏の意気込みと活気が感じられた。

コ・メディカル形態機能学会の第5回総会は下記のように行われた。

日時：平成18年9月23日（土）16：45～17：45

場所：山形大学医学部第4講義室

出席者：75名（委任状を含む）

議長を集会長の渡辺 皓先生、書記に佐藤寿晃先生を選出し、議題に従い順次討議を行った。学会となり、今回から総会成立は会員の1/2（74名）が成立要件となった。

〈議題1〉18年度事業報告

1. 現在の会員状況：148名（平成18年9月15日現在）

コ・メディカル形態機能学研究会は平成18年3月15日現在196名の会員で構成されていたが、学会昇格に伴い再登録の結果約50名が減少した。この50名の中には32名の2～3年間会費未納者が含まれており、連絡の取れない会員もいる。会員全員に機関紙を送付していたので未払い分の会費請求書を郵送した。

質問1：コ・メディカル形態機能学研究会の会員は登録手続きをしなければいけないか。

回答：平成18年4月1日で学会になり、正確な会員数を把握するため再登録をお願いしたい。

質問2：未納者分の会費はどのように扱われているか。

回答：過去2～3年分の未納者にも機関紙は送付してあるので、請求書を送り会費の完納後に退会してほしい旨の添付書を同封してある。

2. 機関紙「形態・機能」発行状況

5巻1号：原著4編、第5回学術集会抄録、第4回総会報告等が掲載

5巻2号：原著6編、第5回総会報告、第6回学術集会と総会の案内等が掲載

〈議題2〉日本学術会議協力学術研究団体指定について

当初申込後3ヶ月を目途に審査終了予定であったが、研究者の論文盗用問題、科研費の使用に関する倫理規程の設定などの問題が発生して、審査終了は10月頃に延期すると事務局から連絡があった。

付：平成18年9月25日付きで日本学術会議協力学術研究団体指定の通知書が届きコ・メディカル形態機能学会が協力学術研究団体として公認された。

〈議題3〉 学術委員の職務について

全国を北海道・東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州の6地区に区別し、同時に看護、臨床検査、リハビリの職域を考慮して学術委員を選考した。専門領域及び地域活動の活性化についてどのように活動してもらうかを検討したい。

〈議題4〉 会費納入について

機関紙各巻2号に会費振込用紙を挿入するので、その年の会費納入をお願いしたい。2年以上会費未納者にはe-mailで知らせ、完納を促す。

〈議題5〉 第6回学術集会について

集会長：絹谷政江 先生

場所： 愛媛大学医学部

日時： 平成19年9月15日(土)

以上

平成19年度事業計画および予算報告などについて

学術集会が9月になり、新年度の事業計画ならびに予算案および年度末(各年の3月末日)の事業報告及び会計報告が出来ないが、当面の間は機関紙「形態・機能」上に掲載し、総会の際に質疑を受ける。

〈議題1〉 会員数：150名(平成19年3月1日現在)

第5回総会の際に会員数を148名と報告したが、8名は総会直前に電話で確認すると直ちに登録手続きをするという返事であったが、総会後になっても手続きをされなかった。結局140名が平成18年9月15日までの会員数であるのでお詫びして訂正する。

内訳 新規加入会員 10名、 退会会員 0名

〈議題2〉 機関紙の発行

「形態・機能」：6巻1号(平成19年9月発行予定)原著と第6回学術集会抄録その他を掲載予定

6巻2号(平成20年3月発行予定)原著その他を掲載予定

〈議題3〉 役員選挙と被選挙権

今年度末(11月予定)に役員改選の選挙を行う。会則第12条によると会長の任期は2期までであり、今回は改選となる。なお、被選挙権は2年以上在籍の正会員に限られるので、コ・メディカル形態機能学研究会に平成17年10月31日迄に入会した会員に限る予定である。選挙(投票)権は全会員にある。

〈議題4〉 委任状の件

会則では、総会は会員の半数以上の出席で成立するとなっているので、委任状を機関誌に挿入する。総会欠席者は必ずFAXで委任状を事務局まで送付してほしい。

以上